



だれ あんしん す さん だしょうがっこう  
誰もが安心して過ごせる三田小学校に…

パート2

みなさんは、どんなときに「安心できる」と感じることができますか？  
一人で自分の好きなことをしているとき、お友だちと楽しい話をしているとき、先生に相談をしているとき、授業で答えがわかったとき……。人によって安心できる場面が違いますが、誰もが安心して過ごせる三田小学校にするために、どんなことに気を付けて過ごすといいかを考えてみましょう。

言葉づかいについて



敬語を含め、言葉遣いを意識することは、「社会人」として、相手への配慮をしめす、最低限のマナーです。仲の良い友達、クラスメイト、先生、地域の方々等、どんな相手に対しても、**思いやりの気持ちを忘れず接する**ことで、よい雰囲気を作り、誰もが安心して過ごせる空間を作っていくことができます。

また、同じ相手に対しても、言葉づかいひとつで、しゃべる場所や時間が違えば、相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることもあります。例えば、教室と職員室や、休み時間と授業時間など。だからこそ、相手のことを思いやり、「今はどんな言葉づかいで話すことがよいか」などを考えて、会話を楽しみましょう。

さらに、「**親しき仲にも礼儀あり**」という言葉があります。どれだけ仲の良い友達や家族に対しても、心を込めて話すことを意識していれば、気持ちや考えも伝わり、良い雰囲気・環境を作ることができます。

そこで、丁寧な言葉づかいを身に付ける方法を少し考えてみましょう。

① 身の回りの人をお手本にする。

身近に「この人の言葉づかいは丁寧だな」と思う人がいれば、その人をお手本にしてみるのもいいですね。

② なるべく多くの人と接する。

人と会話することは、自分の言葉づかいを確かめるよい機会になります。良い言葉を使っていくことにより、優しい言葉づかい初めて定着するため、たくさんの人と積極的に会話してみましょう。

③ 落ち着いて話すことを意識する。

正しい言葉づかいを知っていたとしても、自分が緊張したり、パニックになったりしてしまうと、正しく使うことができなくなります。人と話をするときは、落ち着いて会話をしましょう。

誰もが安心して過ごせる三田小学校を作っていくためには、みんなが相手のことを思いやることが大切です。

学校が「みんなの安心の場」になるということは、たくさんの「笑顔」が見られるようになるということです。**三田小学校がたくさんの笑顔であふれる学校になるよう、みんなで意識していきましょう。**

2学期も誰もが過ごしやすい学校にするために、お互いに周りの人にも目を向けて、行動していきましょう。